



2018年度もうひとつののうち自己評価表

	チェック項目	取り組み状況
環境・体制整備	お子さまがのびのびと過ごせる広さのお部屋を確保しているか	6人～8人クラスに5～6人のせんせいで対応。言語聴覚士、作業療法士、臨床心理士、保育士などお子さまの発達についての専門知識と経験を有するせんせいがチームでレッスンを提供しております。お子さまたちが過ごすお部屋には吹き抜けがあり、2階でモニターにてレッスンの様子をご覧になっているご家族に楽しそうな声が聞こえてきます。階段には転落防止のため、手すりやドアを設置しており、お子さまもご家族も安心して過ごせるように工夫しています。また、床はスチームモップで清掃し、清潔に保つ努力をしています。
	せんせいの人数や専門性はお子さまの育ちを促すために十分であるか	
	1対1の対応が必要なお子さまのために十分な数のせんせいがいるか	
	お子さまひとりひとりの育ちに合った環境調整が充分に行われているか	
	お子さまが安全に過ごせるように、お部屋の中の安全対策を行っているか	
	お子さまの健康が保たれるようにお部屋の中の衛生管理を行っているか	
業務改善	お子さまが最大限成長できるよう、適切な目標設定と振り返りをしているか	お子さまのためにできることを話し合い、日々の関わりに活かしています。プレスクールでは6ヶ月毎、就園後は1年毎に標準化されたアセスメントを行い、個別支援計画を作成。アセスメント結果は第三者の研究者の方に効果検証を依頼し、その結果に基づいた定期的な研修を実施、3月には厚生労働省が開発中の外部評価も受けています。ご家族には週に1度、お子さまの成長記録をメールにてご提出いただき、レッスンの中でどのように向き合うかの参考としています。ご家族へのアンケート調査は年1回実施、お子さまの成長記録は週1回ご提出いただいています。
	ご家族を対象とした、アンケート調査を実施し、サービスに活かしているか	
	自己評価の結果をHPなどで公開しているか	
	第三者の方に評価をお願いし、サービス向上に繋げているか	
	せんせいの専門性の向上のために、研修の機会を確保しているか	
	レッスンの質を向上させるためのスーパーヴィジョンの仕組みがあるか	

適切なサービスの提供	お子さまの育ちについての評価を適切に行い、お子さまやご家族のニーズや課題を分析した上で、レッスンについての計画書を作成しているか	Vineland- II 適応行動尺度を中心に新版 K 式発達検査、田中ビネー知能検査 V、WISC-V 知能検査などの検査を定期的実施している他、フィードバックや成長記録を参考に日々プログラム内容を更新しています。お子さまに信頼されるせんせいであることを第一に、お子さまの考えを理解し、気持ちに共感することを大切にしています。お子さまが自ら学び取れるように声かけや環境設定に工夫を凝らし、生活の流れの中に一人ひとりの課題を織り込んでいます。1 年間同じお友だちとのグループレッスンと個別レッスンを、「お友だちとなら頑張る!」、「お友だちに負けたくない!」、「お友だちの役に立ちたい!」など環境に依存しない内的動機づけのシステムを獲得する機会を提供しています。レッスン内容は、口頭でのフィードバックに加え、専用サイトにてサービス提供記録を共有し、ご家族からコメントをいただいています。レッスン中には、代表のますながが必要に応じてご家族へのコンサルテーションやペアレントトレーニングを実施しております。
	お子さまの育ちの経過を把握するために継続的に統一の評価ツールを用いているか	
	お子さまの育ちに応じたプログラムになるよう、チームで検討しているか	
	お子さまが楽しめるような工夫を凝らし、選択する機会を設けているか	
	お子さまに合わせた、きめ細やかな課題設定をするよう心がけているか	
	お子さまに応じて、ご家庭や生活環境に合わせたプランを提供しているか	
	レッスン前にせんせい同士で打ち合わせをして、役割を明確にしているか	
	レッスン終了後に全体で振り返り、一日の様子について共有しているか	
ご家族への説明責任	レッスンの記録を必ず残し、プランの検証、改善に努めているか	公費事業の利用が初めての方もいらっしゃるため、ご契約時に、運営規定、レッスン内容、料金について丁寧に確認しております。グループレッスンを行っていること、個別レッスンも大きなお部屋にて一緒に行っていることからご家族同士の交流も盛んです。個人情報保護にはできる限り注意をいたしますが、他の方と会いたくないというご家族には向いていない設定かと思えます。2階でご家族が一緒にお昼ご飯を召し上がったたり、ごきょうだいが学校の宿題などをされていたりします。ご家族企画の泊まり会やクリスマス会、謝恩会などのイベントもありました。
	運営規定、レッスン内容、料金について丁寧に説明し、個人情報に注意しているか	
	子育てについての相談に応じ、協力して対応を考え、実践しているか	
	ご家族同士の仲を深めたり、情報をご紹介します仕組みがあるか	
	レッスンの様子をお知らせし、ご家族との意思伝達をする手段があるか	
ご家族からの苦情に対応する体制があり、丁寧な対応ができているか		

非常時の対応	リスク管理、衛生管理、災害時対応についてマニュアルを策定し、周知しているか	ヒヤリハット事例は振り返りにて確認を取った後、記録しスタッフ全員で共有します。非常時対応はマニュアルを作成、定期的に避難訓練を実施しています。お子さまの気持ちが崩れた時には、お子さまの立場から理由を考え、共感の言葉をかけます。更に見通しが立つよう次の活動について伝え、機能的なコミュニケーションに繋がるように働きかけています。イベントなどで食べ物を提供する際には、ご家族と話し合い全てのアレルギーに対応し準備しております。
	虐待防止等お子さまの育ちを保證するための研修の機会を作っているか	
	災害の発生に備え、定期的に避難訓練を実施しているか	
	お子さまの気持ちが崩れた時、必要な対応をご家族と話し合っているか	
	ヒヤリハットは記録し、改善策を検討した報告書を保管、共有しているか	